

成果報告書

地域文化倶楽部(仮称)創設支援事業

団体名	堺シティオペラ一般社団法人		
所在地	大阪府堺市	設立年	1979年「堺市民オペラ」として発足 2009年「堺シティオペラ一般社団法人」へ移行
運営主体	堺シティオペラ一般社団法人		
事業目標	「オペラ」と言う総合芸術に携わる堺シティオペラが、地域の教育委員会や学校と連携し、様々な分野で活躍するアーティストや指導者をコーディネートし地域の中学生・小学生に学校の部活動に代わり継続的で質の高い多様な文化芸術活動の機会を提供する。オペラだけに特化するのではなく、演劇、ミュージカル、ダンス、舞台の裏方、オーケストラ・吹奏楽など、舞台芸術に関する様々なことに触れる機会を作り、音楽や舞台芸術を身近に感じてもらい、今後の子どもたちの将来の芸術文化の普及や発展に寄与する。		
きっかけ	堺シティオペラが、生徒数の減少や教員の働き方改革等の課題に対処し地域の教育現場に貢献と同時に家庭の経済状況に関わらず子どもたちが多様な文化・芸術体験を積むことができるようサポートしたいという思いでジュニアオペラという名称で本活動を立ち上げた。 部活動による教員負担軽減や少子化等への対応を推進する文化庁事業の一つの地域文化倶楽部創設支援事業で本活動を「地域文化倶楽部」として2020年に承認された。		
団体・組織等の連携			
活動場所	堺シティオペラ エタニティ エイト 和泉市立信太中学校、堺市立津久野中学校、堺市立泉ヶ丘東中学校		
活動概要	地域文化倶楽部・ジュニアオペラは、地域の団体である堺シティオペラが主催し文化庁の助成を受け2021年に立ち上げられた事業である。 大阪府内の全小・中学生を対象に部員を募集し、音楽、演劇、ミュージカルなどの表現分野と伝統芸能(狂言や日本舞踊)、舞台芸術や作詞など制作分野を融合した総合文化芸術部として活動している。大阪府内の小・中学生が部員となり、週1回1時間～3時間程度堺シティオペラの施設であるエタニティ エイトで集まり、活動している。講師は、オペラや舞台芸術の様々な分野で活躍するアーティストが担当し、毎回違ったテーマを題材として各講座を開催し指導に務める。 また、2022年度からは堺シティオペラ記念オーケストラのメンバーによる、吹奏楽部の指導も開始し、学校に出向き各パートごとのスペシャリストによる指導も開始した。		

○本事業による成果

- ・参加児童は技術の向上だけではなく、学校や・年齢の幅が広く垣根なく友人ができるなどの副次的な効果が得られている。
- ・子どもたちに学校ではない居場所を作ることに貢献し、毎回の講座を楽しみに参加している子が多かった。
- ・保護者からは家庭での日常生活では見せない生き生きとした子ども姿に感動され、今後の継続を希望される方が多い。
- ・小学生の参加が多いので、中学生になってからも舞台芸術に関わる子どもが増えていくと考えられる。
- ・2021年度の活動をベースに学校にも認知していただける機会も増え、直接中学校に行き指導する機会もできた。また学校の部活動の先生との意見交換もでき、実際のクラブ活動ではどのようなことが求められているかを知ることが出来た。今後今年度参加された中学校の先生からの紹介でより多くの学校の先生方に求められる可能性が増えて、2023年度の参加希望を既に依頼されている。
- ・指揮法や作詞、作曲など普段学校や習い事では習えないような機会になった。
- ・指導者として意欲を持たれている先生方にとっては、部活動の内容や質を向上する取組としてよい受け皿になり、優れた人材を青少年育成の現場に招くことができた。

○児童・生徒への指導に関する工夫

- ・学校では習うことの出来ない現役のアーティストを指導者として選定している。
専門的な知識をもつ指導者から指導を受けることで、生徒の技術習得や意欲向上、保護者の理解につながっている。
- ・学校の都合などで毎回参加しなくても遅れをとらないよう継続的ではない講座(毎回指導者が代わる)を開催。
- ・地域のイベント(公演)ではオーケストラや現役の歌手と一緒に公演に参加できる機会を提供。
- ・メインの講師以外にも指導補佐が付き添い低学年の児童の練習をサポートするといった工夫も行っている。
- ・年度末には、1年間の成果を発表するための発表会を開催。その題材には子どもたちの自発性や可能性の発達に繋げる独自性を持たせた。
- ・吹奏楽に関しては、楽器の移動も難しいため、本事業では学校へ直接指導者を派遣し、多数の専門分野の講師が楽器の取り扱いの基礎から指導し、顧問の先生にはプロの指揮者から指揮法を指導。

○運営上の工夫

- ・子どもたちが様々な経験ができるような様々な分野で活躍する指導者を選定
(当団体で指導経験のある講師やアーティストを講座に合わせて選定)
- ・活動時間は学校終わりの時間にあわせて参加しやすい時間に調整
- ・生徒たちの募集は当団体のホームページやSNSで告知と、地域の音楽教員にチラシの配布。
- ・保護者との連絡調整については、当団体の事務局員が必ず講座が開催され前日にメールで連絡。
- ・多岐にわたる指導者が対応するため、指導者同士が連絡を頻回に行い参加する児童の内容や他の講座に関しての情報提供も行う。
- ・指導者の参考になるように、他講座の動画データを指導者に配信
- ・地域の公演に参加するなど、他団体とのイベントにも積極的に子どもが参加出来る機会を作る。
- ・活動支援・事業運営のためにリモートレッスンや動画配信などでICTを活用。
- ・地域の学校での部活動の指導者から直接意見を聞くことで、部活動で何を求められているか情報収集。

○継続的な運営に関する課題・展望

保護者や学校の指導者からも継続の希望の声が多数あり、今後も文化庁の支援をいただけるのであれば今年度以上に活動が広がっていくように思われる。

現在、この活動のポイントは月謝や参加費をいただくことなくたくさんの生徒が参加できるように設定しています。そして今後も可能な限り家庭の事情に関わらず、子どもたちが常にレベルの高い舞台芸術を学べる機会を提供したい。

現状では教育委員会からのサポートはほとんどないので、今後はもう少し協力を得られるように働きかけることが課題となる。また、学校に直接チラシを送付するだけでは、中々活動がつかないで個別に学校の指導者を訪問し、指導者や学校のニーズを直接聞き出していき、幅広く学校や教師にこの活動を周知してもらい、生徒に推薦したくなるような仕掛けを作っていきたい。

また、実際の部活動の顧問や学校の先生からの生の声普段指導できないようことを提案できるようにし、離れた学校の音楽教師が地域文化クラブを通じてつながることで情報共有ができるようになり、今後の文化芸術関連の学校での指導の発展や向上につなげ、将来の芸術文化の普及と発展に寄与する。

今後は地元の企業や事業所に広報協力等のサポートをしてもらうことにより、将来的に子ども達の文化芸術活動を行政機関や地元の企業・事業所がサポートするシステムを構築することを目標としている。

○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・提案

【子どもたちには】

「オペラ」と言う総合芸術に携わる堺シテオペラが、地域の教育委員会や中学校と連携し、様々な分野で活躍する

アーティストや指導者をコーディネートし地域の中学生・小学生に学校の部活動に代わり継続的で質の高い多様な文化芸術活動の機会を提供する。オペラだけに特化するのではなく、楽器の演奏(吹奏楽など)、日本の伝統文化、演劇、ミュージカル、ダンス、舞台の裏方など、舞台芸術に関する様々なことに触れる機会を作り、音楽や舞台芸術を身近に感じてもらい、今後の子どもたちの将来の芸術文化の普及や発展に寄与する。

- ・学校ではできないような活動をしてもらい、将来の選択しを広げる
- ・専門性の高い指導を受けられる機会を提供する
- ・参加するしないを自由に選択できるようなシステムにする
- ・様々な価値観を持つ人や、学校や年齢の幅が広く垣根なく交流でき、成長できる環境を提供

【教職員、学校には】

地域の中学校では音楽を指導する教師が1名しかいないことも多く、離れた学校の音楽教師が地域文化クラブにより繋がり今後の学校での指導の向上になるようなイベントを企画し、学校関係者も参加できるように学校や教育委員会と連携を図る。指導者を巻き込んだ活動にし、生徒だけでなく教師も一緒に学べる機会を作る。

地域の学校や教育委員会などの行政機関などと連携をして、生徒や各家庭への広報協力を得るように働きかける。また、地元の企業や事業所に広報協力などを依頼しサポートをしてもらうことにより、将来的に子ども達の文化芸術活動を行政機関や地元の企業・事業所がサポートするシステムを構築することを目標としている。

- ・部活動指導の負担が減る。授業準備など本来業務により時間とエネルギーを割けるようになる。
- ・地域との関係性が強まる。部活動以外でも連携しやすくなる。

【地域にとって】

- ・地域のスポーツや文化活動の活性化
- ・地域のなかでの連帯、関係性の向上
- ・地域の企業等のビジネス活性化

○令和4年度 取組状況等

参加者	人数等	約 482名
	学校名	大阪府内の小中学生(堺シティオペラでの参加者 → 22名 和泉市立信太中学校 → 吹奏楽部 20名 堺市立津久野中学校 → 2年生 180名 堺市立泉ヶ丘東中学校 → 2年生 260名
	募集方法	チラシによる募集(地域の中学校にチラシの送付) 音楽の先生や顧問に直接相談 2021年の参加者は引き続き参加+2021年度の参加者からの紹介。 SNSでの告知。
指導者	人数等	外部人材を活用 ・歌唱指導(10名) ・楽器演奏指導(13名) ・ピアニスト(4名) ・作詞(1名) ・指揮者(1名) ・作曲(1名) ・ダンス、ミュージカル(2名) ・舞台美術(1名)
	募集方法	当団体に登録しているアーティストや歌手 当団体の記念オーケストラに参加されている音楽家
参加者の移動手段		徒歩・保護者による送迎・電車
活動費用	指導者謝金等	講師謝礼／4,400～5,100円(1時間) 講師補佐／1,600円(1時間) コーディネーター(事務局運営)／1,023円(1時間)
	その他	練習場所(文化施設等を利用した場合)／約3,870～8,790円
活動財源	会費	会費なし
	その他	
スケジュール	基本活動	基本的には平日 週1～2回歌から楽器、作曲、作詞など様々なワークショップを開催し、発表会に向けてのお稽古や、合唱での参加は複数回開催。単発では、学校に行き吹奏楽部の指導や、オペラの指導を行う。
	年間	10月／ダンス・演劇ワークショップ、作詞、かるた唄合唱練習 11月／かるた唄合唱練習・本番、歌と台詞(発表会に向けて)、指揮者による指揮法、小道具ワークショップ 12月／指揮者による指揮法、歌と台詞(発表会に向けて)、ダンス 1月／ダンス、発表会練習、ヴァイオリニストによる講座 2月／発表会練習、打楽器の講座、作曲の講座、オペラ講座(中学校で) 3月／発表会練習と本番・吹奏楽指導(信太中学校)・オペラ歌手に習う歌唱
保険加入等		無

【活動の様子（写真添付）】



発表会 【アメージング・ピーターパン】



信太中学校 【吹奏楽指導】



津久野中学校 【オペラ講座】



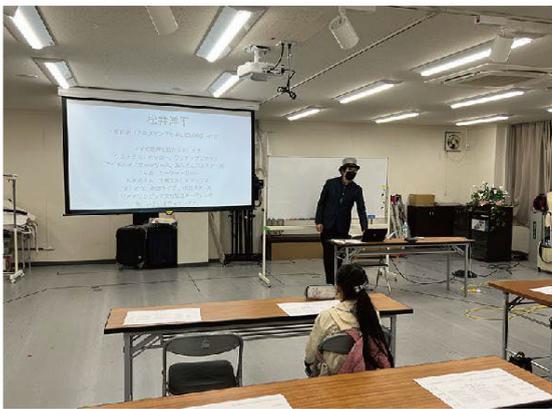
【ヴァイオリニストに習う講座】



【作曲】



【打楽器】



【作詞】



【オペラ歌手に習う歌唱法】



【指揮】

